



先生・生徒合わせて、現在九人、
「五年ほど前のスタート時には、
体育館一杯の人だかりだった」と当
時を振り返って、寂しそうな素振り
も見せずに大川恵子さん。
一見簡単そうですが、案外基本が
難しく、「顔の向きはこちら、キョ
ロキョロしないで」と指導するのは
鍋島典子さん。
「覚えるよりも、忘れるほうが早
くて」といいながらも、毎回ほとん
ど欠席者がいないのは、汗をたっぶ
り流す仕立感と姿勢が良くなり健康
維持に役立っているから。
このクラブの楽しさは、初心者か
ら上級者までそのレベルにあった踊
りがはまる、和気あいあいの雰囲気
なのだそうです。

このコーナーでは、同じ趣味を持つ
た方たちの楽しい活動風景を紹介して
います。「私たちのサークルを取材し
てほしい」と思われる皆さん、ぜひ「
応募ください」。

■応募方法 サークルの代表者の氏名
住所、電話番号、活動場所、それに活
動内容を簡単に明記
■あて先 〒783 南国市大浦甲二三
〇一 南国市企画課広報統計係



しかし、宿みのタネが一つ、男女が
パートナーになり、優雅におどるのが
社交ダンスの妙味ですが、男性はただ
いま久米広美さんただ一人。
「男性はリード役ですので、女性の
三倍は練習しなければいけません。そ
んなことより、家で酒でもというのじ
やないですかねえ」と女性から暗に批
判的な一言も。
日曜日の夜には、ワルツやタンゴな
ど、紳士と淑女の華やかな舞踏会が開
かれていきます。
最後に皆さんから一言、「このコー
ナーを読んだ方、ぜひ一緒に踊りまし
よう」。

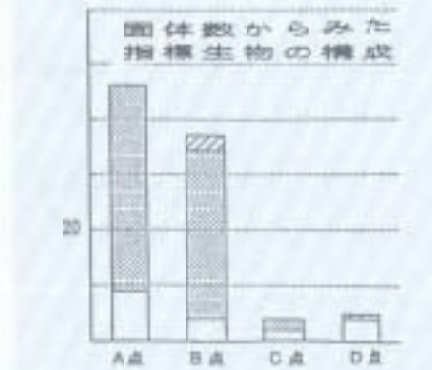
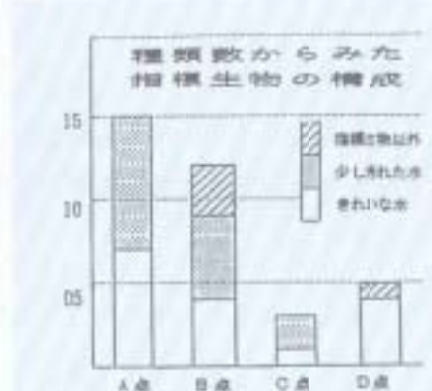
われら仲間

ワルツのステップ



市民サロン

このページは市民の皆さんが作るページ
です。短歌、俳句、川柳などの文芸作品や
どんなことでも結構ですので皆さんのご意
見をお気軽にお寄せください。
締め切りは毎月10日です。
あて先は南国市企画課市民サロン係（〒
783 南国市大浦甲2301）です。



水生昆虫から見た領石川②
小松由和（久礼田）

観察の結果、領石川ではきれいな水に生活する水生昆虫が上流から下流まで観察され、汚れた水に生活する水生昆虫はみられません。
今回の観察で、とても興味深いことは、上流に比べて中流から下流では個体数と種類数がとても少なかったことです（図参照）。この原因については、いろんなことが考えられるでしょうが、だんだんと領石川の水は汚れてきているのかもしれない。
私たちがこれからの子供たちにしてあげたいのは、便利で豊かな社会もそうでしょうが、一方、ひとつでも多くの自然の姿を残してあげられるのも大事なことです。動物たちが住みにくい環境には、私たち人間も住みにくいのではないのでしょうか。
一人一人がもっと自然を大事にしていきましょう。これ以上、川の動物が住みにくくならないように。
最後に、環境問題に熱心な会社で以前、広告用に使ったコピーで私が印象に残ったものを紹介します。
「われわれは地球の環境を祖先から受け継いだのではなく、子孫から借り受けているのである」



執念「休んではいられない」
森沢良博（東崎）

南国俳壇

美立子や秋せば鏡のふとりに
梅漬けて弟の足日思ひ出す
額の花入口せまくせまくなる
トルコききょう持ちて病名
告げにくる
比江 小松ふみ
日章 久竹豊美
長岡 野島卓子
日章 佐竹悦実
明見 木戸 節
物部 山川邦子
前浜 中村祭生

南国柳壇

土佐の夏緑沙吹く鏡川
子をダシに懸袂会は盛り上がり
十市 沢村鶴一
十市 八松久幸

南国歌壇

潮風らぬ風も吹くべしと清き出でし
承平四年のかの舟びとら
電線に音傳のような難つばめ
チチチと鳴きねんねとねだりて
病院で半世紀前の戦争後
灯は消えるとも尽きる事なし
あの百合が咲けば梅雨は上らんと
故老の遺いし鬼百合の葉つ
西野田 吉川定子
西野田 吉川定子
浜改田 楠瀬富士子
十市 八松久幸
藤原 小松延江

これはなんでしょう



答えについての思い出など
もお待ちしています。

■しめきり 8月11日
■あて先 〒783 南国市
大浦甲二三〇一 南国市企画
課 親子クイズ係

■賞品 正解者の中から抽選
で5人に図書券を進呈
◎第10回親子クイズの答えは、
かに（さわがに）でした。

第10回当選者発表（敬称略）
（応募総数20通）
森田愛（岡豊）
細川寿万子（十市）
松村洋子（明見）
藤澤芳子（立石）
奴田原貞子（天行寺）

お便りの中から皆さんの思
い出の一部をご紹介します。
◆魚のアラをもらってかにを
釣って遊んだこと。ポイ
ルして食べました。
◆子供のころ、祖母の家の近
くの川でつかまえた思い出が
あります。このころはあまり
見かけることもありません。
のんびり川べりを歩く時間も
ないからでしょうか。
◆まえに、大きなかにを弟が
つかまえました。せなかや
わらかかったです。きもちが
わるかったです。
◆毎年、子供と夏になると海
や川に出かけます。下の子供
が初めてかにを見て喜び、さ
わろうとしてハサミで指をは
さまれて泣きだしてしまっ
たのが、一番の思い出です。
◆昔、宇田橋の上で、雨上が
りに上流からくだって来る
「かに」を竹さおの先につけ
た「ミニズ」でつって網です
くったことを思い出します。
◆ほくが休みのとき、おばあ
ちゃん所に行くとき、川のきれ
いな水の流れているところに
たくさんかかっています。それ
を取るのがとても楽しみな
です。赤ちゃんが、とても
かわいいです。やはり水が
きれいということがよくわか
りました。